

文化構想学部・文学部 英語カリキュラム について

英語科目には、1年次に履修する**必修科目**（必修 EGC : English for General Purposes）と学年を問わない**選択履修科目**があります。ともに**すべて英語で**行われます。まず1年次には必修科目として**春学期は必修 EGC イ、秋学期は必修 EGC ロ**を履修（自動登録）し、4技能について総合的に学びます。それと並んで、1年次から卒業まで履修可能な**選択英語**として Academic Skills(AS)と Intensive Studies(IS)の2つの科目群が置かれています。選択英語科目については、履修制限を越えなければ、いくつ履修しても構いません。

■英語科目の構成

必修英語（自動登録） 1 年次	選択英語（選択履修） 1 年次～卒業まで			
	Academic Skills			Intensive studies
春学期 必修 EGC イ 秋学期 必修 EGC ロ	Writing	Reading	Discussion	U (Upper-intermediate) 以上のレベル
	設定レベル			
	L (Lower-intermediate)			
	M (Intermediate)			
	U (Upper-intermediate)			

選択英語科目について

選択英語科目は大きく **Academic Skills 科目群**と **Intensive Studies 科目群**に分けられます。

Academic Skills(AS)は英語「で」行われる広域科目・専門科目を学ぶために必要な英語能力を身につけることを目的として設置される科目です。この科目群はさらに **Writing, Reading, Discussion** の3つのカテゴリーに分かれ、またそれぞれの科目には **L (Lower-intermediate), M(Intermediate), U (Upper-intermediate)**の3つのレベルが設定されています。（なお Academic Skills には他に教職を目指す学生をもつばらの対象として **Integrated** が3科目置かれています。こちらのレベルは **M** またはそれ以上になります。詳しくはシラバスを参照してください。）

Intensive Studies(IS)は、英語「で」学ぶ広域科目・専門的な科目です。英語「を」学ぶのではなく、ここでは個々の学問領域について、4つの技能(**Reading, Writing, Listening, Speaking**)を用いながら英語「で」学びます。この科目群は授業形態によって **Lecture-type** と **Seminar-type** に分かれていますが、2017年度については、**Lecture-type** のみ開講します。レベルは、個々の科目により異なりますが、おおよそ **U レベル (Upper-intermediate)** 程度の能力を要します。（レベルについては次項を参照して下さい）

選択英語 Academic Skills (AS)のカテゴリーとレベルについて

Academic Skills(AS)は、学術研究に必要な英語能力を養うことを目的として、**Writing, Reading, Discussion** の3つのカテゴリーの科目が置かれています。**Writing** では、レポートや論文の作成に必要な「書く」ための英語能力を養い、**Reading** では学術的な文献の内容について迅速かつ的確に把握、理解できることをめざし、**Discussion** では、**listening** や **presentation** を含め、授業において口頭で行われる様々な言語活動に要する力を養います。それぞれもつばら学習する技能によってカテゴリーが分かれています。どの授業でも4技能すべてを使用します。

前述のように、**Academic Skills(AS)** には、**L (Lower-intermediate), M(Intermediate), U (Upper-intermediate)**の3つのレベルが設定されています。それぞれのレベルについては、**おおまかな目安として**次頁のような各種英語技能試験との対照表を作成しましたので、参考にしてください。ただし、これらの技能試験を受けなければ履修できない、ということではありません。また、表には4技能の総合点のみ書かれていますが、履修の際には、個々の技能における自分のレベル（点数）を考慮し、技能ジャンルによって異なるレベルの科目を履修するなど、バランスのとれた英語力の獲得を目指してください。

特に、大学卒業時にどれだけの英語運用能力を身につけているのか、という点は、これからますます厳しく問われることになります。この選択英語科目群を計画的に履修することで、**卒業時まで**に **U レベル**の英語科目を履修し、単位取得ができるよう、心がけてください。

■レベルの目安

※「英語 4 技能試験情報サイト」他を参考に作成

L	M	U	英検	TEAP	TOEFL iBT	TOEIC/ TOEIC S&W	IELTS	GTEC CBT	WeTEC	CEFR
							8.5-9.0			C2
			1 級 2630-3400		95-120	1305-1390 L&R 945～ S&W 360～	7.0-8.0	1400	800-	C1
			準 1 級 2304-3000	334-400	72-94	1095-1300 L&R 785～ S&W 310～	5.5-6.5	1250-1399	755-799	B2
									648-754	
			2 級 1980-2600	226-333	42-71	790-1090 L&R 550～ S&W 240～	4.0-5.0	1000-1249	595-647	B1
									524-594	
準 2 級 1284-1800	150-225		385-785 L&R 225～ S&W 160～	3.0	700-999	354-524	A2			
3 級～ 5 級					200-380 L&R 120～ S&W 80～	2.0	-699		A1	

科目名の表記と履修時の注意点

シラバスでは、Academic Skills の科目名は以下のように表記されています。

選択英語内 科目群名	技能カテゴリー	レベル	学期 s=春 f=秋	クラス番号 A-H
Academic skills	(Reading)	M	s	A

同じ科目には複数のクラスが設定されており、学期表示(s/f)の後に A～H までの記号で示されます。つまり「Academic Skills (Reading) MsA」は「リーディングの Intermediate レベル春期開講の A クラス」という意味になります。同一の科目で二つのクラスを履修することはできませんが、Academic Skills (Reading) MsA と Academic Skills(Reading) MfA のように学期が異なる場合は別科目であり、教科書も異なりますので、カテゴリーとレベル、あるいはクラス番号が同じでも履修することができます。また、使用テキストのレベル（[CEFR level B1-B2]など）が授業概要の最後に記されていますが、必ずしも科目レベルとは一致しません。履修の際は科目のレベル記号をまず参考にしてください。（Integrated 科目には、レベル表示はありません）

選択英語 Intensive Studies (IS) の科目名表記について

Intensive Studies では、それぞれの番号に続いて、学ぶ内容のジャンルが(Philosophy 1) や、(Introduction to Japanese Culture and Civilization 3)などと括弧に入れて示されています。区別のため、同一ジャンル内で番号が付けられていますが、それぞれ別個の科目であり、**番号順に履修する必要はありません。**

英語科目の履修にあたって質問、あるいはアドバイスが必要な場合は、下記の教員までご相談ください。

マーティン・アントニー Anthony Martin amartin@waseda.jp

スティーヴン・ライアン Steven Ryan stephen.ryan@waseda.jp

安藤文人 fando111@waseda.jp